



9 月 1 日 地震避難訓練



防災の日、地震を想定した避難訓練を実施しました。

今回は、地震により停電が発生、落下物により避難経路が変更、けが人が出たなど、いつもとは違う想定で取り組んでみました。教室に戻ってから、頭を守る「ダンゴムシポーズ」や机の脚をつかむ「サルポーズ」ができたか、周りで困っている人などに声をかけたり、みんなで協力したりしながら避難することができたか、などの振り返りをしました。



また、教室以外の場所で地震が起きたとき、どうやって身を守るかを実際の場所に行き確認しました。「動くもの」「落ちてくるもの」「割れるもの」「飛んでくるもの」の4つの視点を意識することを学びました。

9 月 10 日 校長講話



今回の校長講話では、千葉、名古屋などの水害、熊本の大地震などを例に挙げ、災害についてのお話を〇×クイズを交えてわかりやすく話していただきました。

第 1 問「地震で揺れ始めたら、すぐ火を消しに行く。〇か×か？」
答えは×です。「揺れている時は、火を消しに行かず無視」してください。揺れている時に台所に走ると、落ちて割れたお皿でケガをしたり、熱いお鍋をかぶって大やけどをしたりすることがあります。今のガス器具は、強い揺れを感じると自動でガスが止まる仕組みになっています。火のことは機械に任せて、まずは机の下に潜って頭を守るのが正解です。

第 2 問「地震で家が揺れたら、潰されないようにすぐ外の広い道路

へ逃げる。〇か×か？」

答えは×です。「揺れている最中に、外へ飛び出さない」こと。「家が倒れたら怖い」と慌てて外へ出ると、上から落ちてくる屋根瓦や割れた窓ガラス、倒れてくるブロック塀がぶつかってきます。揺れがおさまるまでは外へは出ないで、安全な場所でじっと身を守りながら待っててください。

第 3 問「エレベーターに乗っている時に地震が起きたら、最初に『非常ボタン』を押す。〇か×か？」
答えは×です。慌てて非常ボタンを押してもエレベーターはすぐには止まらないので、階と階の途中で止まってドアが開かなくなり、閉じ込められてしまうことがあります。だから、最初に押すのは行き先のボタン全部です。全部押すと、一番近い階でドアが開き、すぐに外へ逃げ出すことができます。とじこめられたら、すぐ非常ボタンを押しましょう。

第 4 問「大雨で水の中を歩くとき、足が濡れないように長靴を履いて逃げる。〇か×か？」
答えは×です。水が道路にあふれたとき、長靴を履くと上から水がジャバジャバ入ってきます。すると、長靴がものすごく重くなって足に張り付き、歩けなくなります。脱げて転び、水に流される危険もあります。水の中を歩くときは、足首をしっかり固定できる「いつもの運動靴」で逃げてください。そして何よりも大切なのは、水が増える前に避難所へ行くことです。

最後に、校長先生から、今日話した 4 つのことをおうちの人に教えるというミッションが出されました。

今日お話した4つのこと お家でも教えてあげてください。

- 1 揺れたら火は無視。まず頭を守る
- 2 揺れがとまるまで待つ
- 3 エレベーターではまず行き先のボタンを全部押す
- 4 水の中を逃げる時は長靴ではなく運動靴

給食週間 9月7日～11日



健康集会では、マナーレンジャーが登場し、給食週間にやることの紹介をしてくれました。

その後、仙丈班ごとマナーレンジャーリレー。フラフープをくぐり、10回ジャンプ、お箸でおはじき運びなど、マナーのことを意識しながらリレーを楽しみました。



↑「今日の給食ランキング」。週間中、毎朝玄関で今日一番楽しみなメニューに投票。結果は、お昼の放送で発表されました。



↑「レンジャーをさがせ!」は、校舎内のいろんなところに隠されているレンジャーの写真を見つけ、平仮名を並び替えて、文章をつくれます。参加賞はレンジャーのしおり。どれにしようか、悩んでいます。



↑「食べ物クイズアンドすごろく」毎日2問のクイズが出されます。2問正解したら3回、1問正解したら2回、全問不正解の時は1回さいころをふることができます。全学年がゴールできるまで、すごろくの期間が延長されました。

9月11日 祖父母参観日

多くの祖父母の皆様、保護者の皆様に参観していただきました。祖父母の皆さんが、お孫さんの学校での様子を見る機会は少ないと思います。子どもたちにとっても、うれしいひと時となりました。

祖父母の皆さんから感想を寄せていただいております。

- ・児童数が減っている中、他校との交流を行っていることは良いことだと感じました。
- ・学校でもとても元気よくしていたので安心しました。
- ・授業になると全員が集中して先生の言葉を聞いているように思いました。
- ・近くの席の子が聞きに行ってくれて「横に座ってもいいって」と言ってくれた気遣いがとてもうれしかったです。



5年生稲刈り 9月14日



秋の長雨の合間を縫って、5年生が稲刈りをしました。みんなで力を合わせたこと、思っていたより楽しい作業だったことが子ども達の感想から伝わってきます。

「あちこちで ザクツ、ザクツと気持ちいい音が聞こえました。稲刈りをやり終わって、いい気持ちになりました。」

「最初は刃物だから怖かったけど、慣れてきたら2こどりとかできるようになってうれしかった。」

「長ぐつが泥に埋まりかけてぬけなくなって大変だった。」

「結ぶのもけこう稲がばらけてしまったりするので難しかったです。」

「みんなが協力してめちゃくちゃ早く終わりました。」

子ども達は脱穀をして早くおいしいお米を食べることを楽しみにしていました。

「もちつきもやりた～い!!」と言っていました。